

第24回緑の育成と樹木保護保存セミナー2016 開催

9月24日（土）に、24回目となる「緑の育成と樹木保護保存セミナー」を多治見市東町「多治見市美濃焼ミュージアム」及び周辺の森林において、岐阜県緑の博士（グリーンドクター）協議会との共催により開催し、約50名の方に参加していただきました。

当日は、曇天で降雨が心配されたため、次のとおり実施しました。

【午前の部】

1. 基調講演

演題：「これからの農林業への期待」

講師：白鳥士郎氏（「のうりん」著者 多治見市出身）

2. 現地研修

シデコブシ皆伐実験地（多治見市有林）

説明者：宮上佳宏氏（多治見市環境課）

【午後の部】

3. 発表

(1) 「シデコブシの保全プロジェクト

～皆伐実験地から分かること～

発表者：宮上佳宏氏（多治見市環境課）

(2) 「ハナノキ自生地での稚幼樹保護の取組み」

発表者：早川茂氏（(有)庭光造園）

4. とりまとめ



白鳥士郎氏の講演



シデコブシ皆伐実験地（伐採前と同様の林況）



シデコブシ皆伐試験地



シデコブシの萌芽状況



萌芽したシデコブシ H=2.0m

今回のセミナーは、岐阜県緑の博士（グリーンドクター）協議会東濃ブロックが担当し、農林高校をモデルにした「のうりん」の作者白鳥士郎氏の基調講演に続き、東濃地方を代表する「シデコブシ」や「ハナノキ」といった樹木の保護保存を主なテーマとして行いました。

特に、シデコブシの保護保存については、シデコブシを含む林分を皆伐して、更新・拡大を図りながら自生地を保全していく実験を紹介し、現地の試験地及び室内で説明や意見交換を行いました。今後、こういった取組みを進めていくためには、保護団体、学術、市民、行政の連携が必要であることも含めて、参加者一同熱心に聴講しました。